

第5期摂津市地域福祉計画のイメージについて

令和7年10月 摂津市保健福祉課

はじめに

市長挨拶

★は第4期計画で
記載なし

第1章 地域福祉計画 策定にあたって

地域福祉とは ★

計画の目指す役割

- ・社会的な背景
 - ・計画の趣旨
 - ・地域福祉活動計画との連携
- *地域共生社会の実現
- *重層的支援体制整備事業 ★

計画概要

- ・法令根拠
- ・関係計画等との整合
- ・計画の期間
- ・計画の策定手法 ★

計画の推進

- ・計画の推進体制
- ・計画の進行管理
- ・社会福祉協議会との連携

第2章 地域福祉を 取り巻く現状

社会情勢の動向

- ・福祉関連法制度に係る国の動向 ★
- ・SDGsの推進 ★

統計からみる市の現状

- ・人口・世帯の状況
- ・支援を必要とする人の状況

アンケート調査からみる市 の現状【抜粋】

- ・回答者の傾向 ★
- ・地域のつながり方別状況★
- ・地域福祉基盤に係る事項★

地域福祉懇談会からみる市 の現状 ★

課題のとりまとめと今後の 方向性

第3章 計画の基本的な考え方

基本理念

基本目標

- I : 地域を支える人づくり
- II : 住み慣れた地域自分らしく暮らせる環境づくり
- III : 市全体で受け止め・支える仕組みづくり

一体的に推進する項目

- ・重層的支援体制整備事業実施計画の方針★
- ・権利擁護の推進（成年後見制度利用促進計画）の方針
- ・再犯防止の取組（地域再犯防止計画）の方針

施策体系

※施策（取組）は素案にて提示

- 市民やあらゆる主体と協働で地域福祉に取り組むための、指針となる計画であり、計画の概要に係る説明を第1章にとりまとめ

- 新たに重層的支援体制整備事業について掲載

- 第2章で、社会情勢を踏まえ、市の現状・課題のとりまとめを実施

- 傾向として「つながり」の希薄化が見られる中で、繋がりを重要視（特に非常時）する声も多く、ライフスタイルの多様化に伴い、地域に対する認識や考え方も様々であると考えられる。

⇒自分にあった地域のつながりができるよう、取組が必要である。

- アンケートや懇談会の意見を踏まえ、基本理念に立ち返り、地域福祉の方向性を確認

- 「人」「環境」「仕組み」の全てが相互に関わる事が必須であることから、それらをキーワードに基本目標を設定

- 課題に対応するために「重層事業」をリーディング事業として取組む必要

第3章 計画の基本理念と基本目標

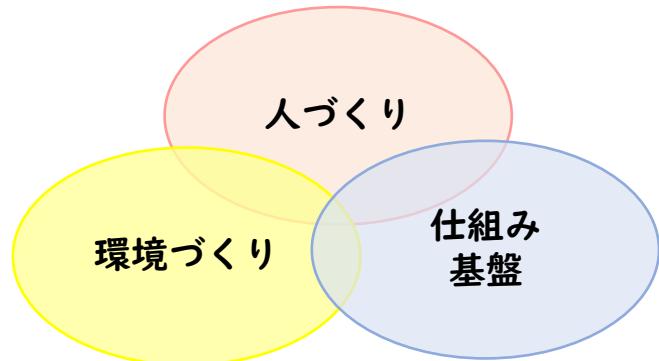
I. 基本理念

基本理念：みんなで支え合い育む、
誰もが安心して暮らせる、
笑顔あふれるつながりのまちづくり

【みんなで支え合い育む】：みんながそれぞれの役割の中で支え合う

【誰もが安心して暮らせる】：市全体で困りごとを受け止める体制・環境がある

【笑顔あふれるつながりの】：生きがいや居場所があり、孤立することなく自分らしく暮らす



地域に関わる様々な人が地域を支え、
地域住民みんなが活躍できる環境があり、
それらを支える仕組み・基盤があることで、
市全体の地域福祉を実現する。